

下表の通り、利用者、お申込み時期、ご資金の受け取り方等に違いがあります。

制度の比較	日本学生支援機構の奨学金(貸与型)	国の教育ローン
利用者	学生本人	保護者
お申込み時期	決められた募集時期	いつでも可能(必要時期の2～3ヵ月前が目安)
ご資金の受け取り方	毎月定額	1年分まとめて
ご利用可能額	第一種奨学金：月額2～4万円または5.3万円(※) (※自宅通学の場合)自宅外通学の場合は6万円 第二種奨学金：月額2～12万円から選択	お子さま1人あたり上限350万円 ※自宅外通学の場合は上限450万円
窓口	在学中の学校	教育ローンコールセンター

日本学生支援機構

1 貸与奨学金の種類と貸与額

貸与奨学金の種類には下表の3種類があります。

奨学金の種類	利子	貸与の方法
第一種奨学金	無利子	毎月の奨学金 原則として毎月1回振込み
第二種奨学金	有利子	毎月の奨学金 原則として毎月1回振込み
入学時特別増額貸与奨学金	有利子	一時金 上記の奨学金の初回振込時に増額して1回だけ振込み(10～50万円の選択制)

2 給付型奨学金(入学金と授業料免除+返済不要の奨学金)

年2回の募集があります。I区分～III区分があり、該当した場合、入学金や授業料の免除を受けることができます。

さらに、下表の額が支給されます。

世帯の所得金額に基づく区分	自宅通学	自宅外通学
第I区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
第II区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
第III区分	12,800円 (14,200円)	25,300円

日本学生支援機構奨学金相談センター(ナビダイヤル・全国共通)



0570-666301

月曜日～金曜日 9:00～20:00
(土日祝日・年末年始を除く)



進学資金シミュレーター

自分が支援の対象になるか
調べてみよう。

日本政策金融公庫



☒ 融資資金の使いみち ※ご融資限度額以内で重複してご利用が可能
授業料のほか、自宅外通学の場合の住居費用等にも使うことができます。
今後1年間に必要となる費用がご融資の対象となります。

学校納付金

(入学金、授業料等)

受験費用

(受験料、受験のための交通費等)

自宅外通学に
必要な住居費用

(敷金、家賃等)

教科書代・パソコン購入費
通学費用・学生の
国民年金保険料など

教育ローンコールセンター ナビダイヤルがご利用いただけない場合等は 03-5321-8656 までおかけください。



0570-008656

月曜日～金曜日 9:00～19:00
(土日祝日・年末年始12/31～1/3は除く)

ハロー コール



詳しくは
WEBで!

その他

経済的な理由等により修学を諦めることがないよう財団法人・社団法人等が各種支援をしています。その一部をご紹介します。詳細につきましては、各機関にお問い合わせください。

■ 母子父子寡婦福祉資金貸付金制度(修学資金)※無利子

母子家庭および父子家庭が子どもの修学資金として都道府県等自治体から無利子で貸付けを受けられる制度。
問い合わせ：福祉事務所(お住まいの市町村)

■ あしなが育英会奨学金※無利子

保護者が亡くなった、あるいは後遺障害のために働けない家庭の子ども対象の無利子奨学金制度。
問い合わせ：あしなが育英会

